

たしかかな平塚を。

平成の、その先へ。落合かつひろと。

子育て世代の転入増、求人倍率や法人税収の回復など、明るい流れが平塚に生まれています。この流れを加速して、子や孫に「たしかかな平塚」をつなぎます。

民間活力活用事業に市民意見を反映させる「平塚方式」など、新しい対話の形を全国に先駆けて広げます。同時に、県内トップクラスの健全な財政運営を堅持します。

平成の、その先の平塚を、**落合かつひろ**と一緒に築いていきましょう！

流れを加速する3つの挑戦！

1. ひとづくり

- 湘南初、小児医療費助成の所得制限を撤廃します。
- 産前産後ヘルパー制度を創設。切れ目のない子育て支援をさらに充実します。
- 2020年4月までに保育園の待機児童ゼロを実現します。
- 働き方改革を先導。保育つき共用オフィスなど子育てと仕事の両立を応援します。
- エアコンは、残る中学校を夏前に整備。トイレ洋式化も加速します。
- 中学校完全給食を実現するための取り組みを進めます。

2. 暮らしづくり

- 高齢者、障がい者、子育て世帯等を、地域と連携し分野を超えて総合的に支援します。
- UR高村団地を福祉・医療・介護・交通等、地域共生社会のモデルとして再生します。
- スマイル100歳社会へ。認知症対策や、40代からの健康長寿事業を強化します。
- 市民の命を守るため、市民病院の救命救急や小児周産期部門を確実に支えます。
- 可燃ごみ戸別収集システムをモデル地区に導入。ごみを出しやすくします。
- SDGs 実現に向け、波力発電、エネルギー地産地消、プラごみゼロに取り組みます。

3. にぎわいづくり

- 2022年春、新文化センター完成。中心街や駅西口を活性化して、にぎわいを創出します。
- 2020年ツインシティまち開き。南北交通に連結バス導入。地域公共交通網も再構築します。
- ビーチパークと龍城ヶ丘に津波避難施設を整備。県内一安全な浜辺をめざします。
- がんばる事業者を応援。創業や事業承継の支援、農業・漁業の6次産業化を広げます。
- 2020東京オリパラを生かしたまちづくりを進め、レガシーを創出します。
- ベルマーレが主体となった専用スタジアム整備を支援します。



Katsuhiko OCHIAI

勇気、誠実、責任感。 対話と共感で、信頼のまちづくり。

イクボス宣言や保育士確保の貸付金など県内初の施策を展開。平成27年から人口を転入増に、平成29年は0～4歳児の転入超過数を県内No.1にしました。同時に、「市の借金」を36億円以上減少させ、「将来に向けた市の貯金」を47億円以上増やすなど、堅実な行財政運営を継続しています。

これまでも、これからも平塚とともに